

## ひまわりの声



編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

港南区全域の単位自治会・町内会が「区連会」を構成し、それぞれに多様な地域活動を展開しています。

今回（第2号・7月発行）は7連合、次回（第3号・11月発行）に8連合と、全連長による具体例を2回に分けて掲載します。（区連会とは、港南区連合町内会長連絡協議会の略、連長とは区連会を構成する15地区の代表の略）

## 大久保最戸連合町内会

文化的薫りが現役引退男性を魅了しつつあります。



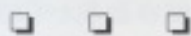
会長 笠原勝一

私達の地域は連合に参加している単位自治会は5と少ないのですが、参加世帯数は5,295世帯と大世帯であり、ご多分にもれず“住民の高齢化”が急速に進みつつあります。つまり、現役引退組が急速に増加しつつあるのです。

このような状況の中で“地域住民の一体感・連携感”を醸成していく対策のポイントは、どうしても引き籠もりがちの「現役引退組の男性」を、どのようにして“馬鹿馬鹿しい…”と思わせることなく「地域活動・自

治会活動」に参加させていくのか？という方法論であると考えています。そこで、私達は絵画・写真・陶芸・キルティング・縫いぐるみ人形・吊し雛・編み物・袋物等の“文化的趣味”の世界に焦点を合わせた「ふれあい教室」を月1回のペースで開催しています。

ありとあらゆる“ハンド・メイド”の作品が寄せられ、“孤独な男性族”相互の親睦の実現に役立っています。



## 笹下連合町内会

子ども防災体験キャンプ活動は、全国的モデルと自負しています。



会長 清水鐵夫

私たちの笹下連合は、参加している単位自治会数は11、加入世帯数は6,148世帯と港南区第2位の大規模な連合町内会です。それだけに地域の全住民が“一丸”となることは、その対象が何事であれ“大仕事”です。しかしながら私たちには、全住民から強く支持され、“連合主催の象徴的事業”として大成功しているイベントがあるのです。それは既に9回の実績がある「子供防災体験キャンプ」です。昨年は実に738名の親子が参加しました。具体的には、昼前に南台小学校に参加者が集合し、その後「港南ふれあい公園」に集団で避難する訓練を実施。公園では消防署と共同しての消火訓練、次に大々的な炊き出し訓練と「炊き出し食」での夕食会。最後に、南台小学校の体育館に戻り、一泊の避難泊を体験し、翌朝全員で朝食をとって解散、という非常に内容の濃い訓練です。是非、港南区全域の参考にしていただきたいと考えております。

## 日野第一連合町内会

次世代の人々のふるさとにしていくと、強く決意しております。



会長 高森政雄

私たちの日野第一連合は、加入世帯数が4,266世帯と中規模です。この地域は単位町内会が個性的な活動をする特徴があります。その代表例として「日野清風苑町内会」の“要援護者対策”と「日野ヶ丘町内会」の“バス路線新設要望活動”があります。

前者の具体的な内容は、町内で地震対策説明会を7回も開催するとともに、全会員を対象とする要援護者調査を実施しました。そして、各班毎にボランティアとしての「日野清風苑防災協力隊」を結成、隊長も選出し、すでに、この隊長の指揮の下で防災訓練を実施しています。

後者は、平成19年10月に「日野ヶ丘町内会交通問題研究会」を立ち上げ、アンケート調査を行い、その結果を受け日野第一連合レベルのより広域的な議論すべき事項として検討しており、今秋には試験運行が開始される計画です。

さて、連合の直近の課題として、「地域福祉保健計画」の策定と「安全安心まちづくり計画」の策定があります。既に関係各組織の責任者全員による話し合いがもたれ、その計画案ができました。

そのほか、今年度中の喫緊の課題として、日野第一吉原町内会と吉原町内会の組織の見直しがあります。両町内会あわせて2,500世帯を数える会員数を、四つの町内会に分割して400～600世帯程度の会員数とし、となり同士の顔が見える組織とすることにより、最近の充実度の著しい「福祉行政」からも漏れてしまう可能性のある世帯を対象に、地域での相互扶助と支え合いの容易な仕組みにしようというものです。既に名称案もできています。

また、忘れてはならない活動として「日野第一ふれあいフェスタ」があります。昨年は実に3,000名以上もの方々が参加し、「地域福祉保健計画」策定の気運が盛り上がりました。これを機会に、町内会や連合に加入していない地区の住民の皆様も含め、この地域を均一にカバーできる「安全安心まちづくり計画」を地域福祉保健計画と並行して研究、具体化していきます。

最後になりましたが、今この街をさらに良いものとし、次世代を担う子どもたちが“わが故郷”と確信できる地域として残していきたいと考えております。



## 日下連合町内会

音楽は老若男女、時代を超える言語だと再認識しつつあります。



会長 中島淑子

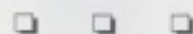
私たちの地域は、連合に参加している単位自治会数は9、世帯数は4,125世帯と中規模なものです。連合としてよりもむしろ、各単位自治会のそれぞれの活動が、誠に個性的であり、多様です。その諸活動の代表的なものを2つご紹介します。

### ①第二笹下ハイツ自治会

最高齢者が75歳という5人編成のハワイアン・バンドである「オヤジ・バンド」があります。この5人は、女性オンリーのフラダンスグループの伴奏をさせてもらうことを“夢”に、連日必死に練習をしています。その努力が評価され、今年初めて連合主催の納涼祭に出場、盆踊りの伴奏をすることとなりました。

### ②南平台自治会

自治会の男女有志が「実年部・南の風の会」という混声合唱団を編成、年に1回南台小学校の音楽祭に参加、地域全体の声援を受けております。なかなかの人気で、すでに5回の実績があります。



## 港南台連合町内会

地域住民が一致して支持する活動をひとつひとつ増加させます。



会長 吉岡 彬

“花はマロニエシャンゼリゼ”と唄われるマロニエの花をご存知ですか。ゴールデンウィークに可憐なピンクの花房をつけ、

駅前からマロニエ通りと呼ばれる道路に街路樹として70本以上植えられています。港南台地区は港南区の誕生とほぼ同じころに宅地建設がはじまり、大型マンション群と閑静な宅地の混在するモダンな街となりました。以来三十有余年、この街を故郷とする人達も立派に独立し、住民の平均年齢も高くなってきました。港南台連合自治会は、時代と環境の変化に則した住みよい街、安全・安心を実感できる場所でありたいと、種々の団体のご協力をえて日々の努力をしております。

その一つがマロニエロードサポート活動です。横浜市がルーマニアのコンスタンツァ市と姉妹都市となったことをきっかけに、平成6年よりマロニエの木を植え続けており、今後もシンボルツリーとして大切にしていきます。まちにひろがる季節ごとの花々は、住民にとって悩みをいやす心のエコとなると思っております。



### 永谷連合町内会

中学生の旦那にも頑張っていたきたいのです。



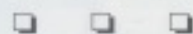
会長 遠藤良一

私たちの地域は、連合に参加している単位町内会の数は9、加入世帯数は5,367世帯です。これらの地域住民の一体感を盛り上げる手段として、各種の訓練

会や講演会はもちろん有効なのですが、私たちは住民全員参加が期待できる「ある程度のお楽しみ会的要素」のあるイベントを多く実施しております。

代表的なものの一つは、第18回目を迎える「永谷地区シャフルボード大会」です。非常に人気があり、高齢者から子どもたちまで幅広く住民相互の交流が行われています。

今回、特に紹介したいのは玉興町内会の活動についてです。小学生と地域社会を結びつけ、創立30年の実績ある「玉興こども会」があるのですが、子どもたちが中学生、高校生となるにつれ、次第に地域と疎遠となってしまいます。そこで、大地震対策の一環として、24時間地域内にいる中学生、高校生を地域社会に呼び戻し、災害発生時での活動を始め、地域社会の各種イベントでも大活躍してもらうことを目的に「こどもOB青少年部」を組織し、15名を超える若者が参加・活動しております。



### 永野連合町内会

地域住民の一体感を醸成する活動は、まず全員の楽しみと喜びから…と考えています。



会長 平山文也

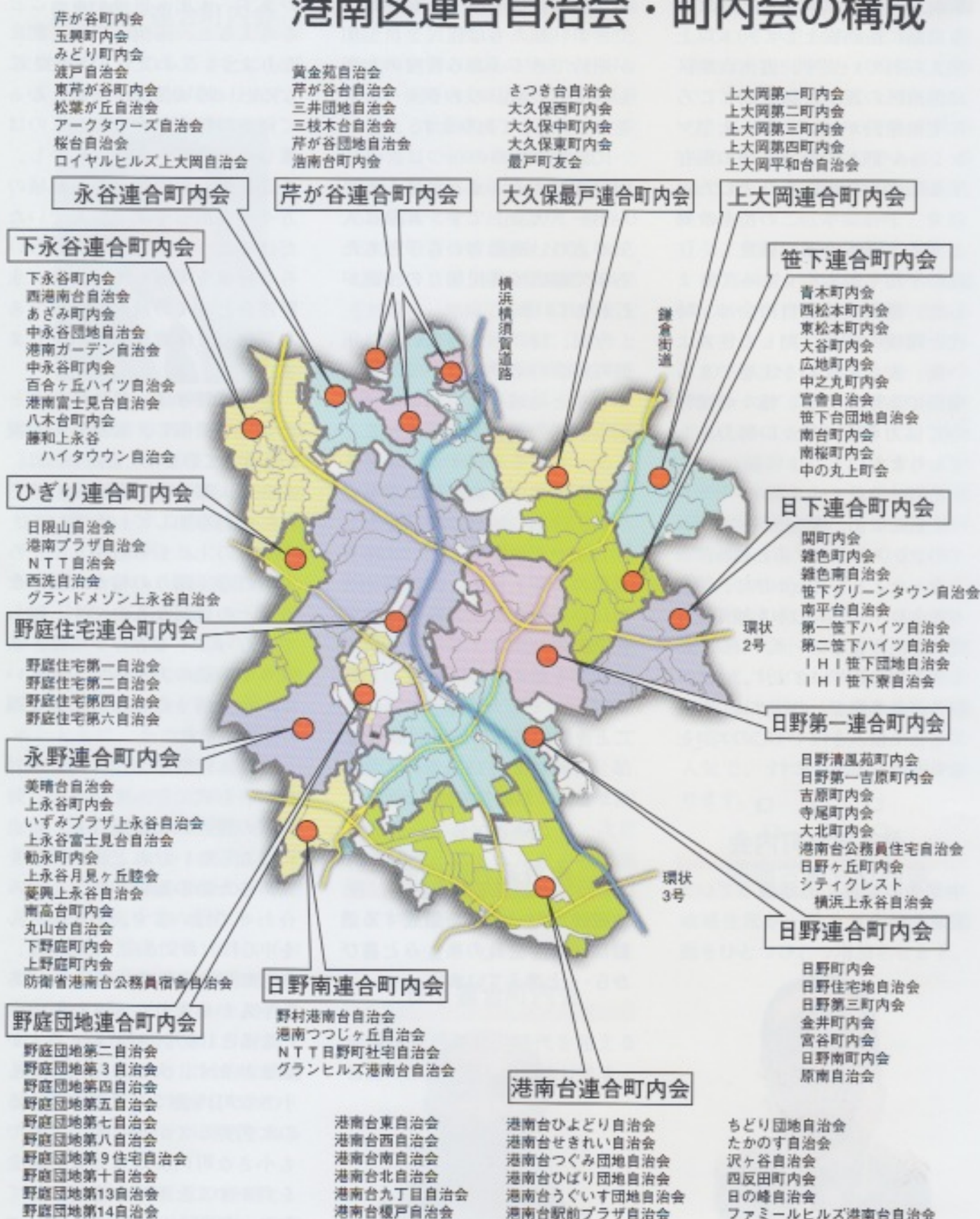
永野連合町内会は12の単位自治会・町内会で構成されており、加入世帯数は8,000世帯を超えて

います。未加入世帯があることを考えると、港南区の約1割になります。これだけの大きさになると、地域住民が一体となって何かの行事をするというのは難しくなってきます。しかし、そこを何とか頑張って、地域の方々が参加しやすく喜んでいただけるように工夫して、いろいろな行事を実施しています。永野連合としての最大の行事である夏祭りと体育祭をご紹介します。

連合夏祭りは、単位町内会との共催で開催し、盆踊りや模擬店を行っています。盆踊りには、連合婦人部や傘下町内会の皆さんに大勢参加していただいて、やぐらの上はもちろん、やぐらを取り巻く踊りの輪が二重になるほどの盛況なものです。踊っていらっしゃる方の中には、名取りや師範の方もいて、きれいで、かつ統一の取れた見事な踊りが自慢です。

連合体育祭は、12町内会の対抗試合形式で行っています。対抗戦の得点になる競技と、得点にはならないけれど皆の親睦を深めるための競技を程よく組み合わせで行います。子どもさんを中心に、お父さん、お母さん、さらにはおじいちゃん、おばあちゃんが集まり、大きな町内会になると100人を軽く超える人が集まります。大きな町内会でも小さな町内会でも選手を集めるのに苦労していますが、それでも小さな町内会が大きな町内会を負かすことがいつも起こっており、毎年大いに盛り上がっています。

# 港南区連合自治会・町内会の構成



## 編集 後記

■本号は7連長の原稿をそのまま掲載しました。連長の日頃の苦勞は想像を超えるものです。皆様の真剣なご感想をお待ちします。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。■区連会会報担当 遠藤良一／中島淑子・編集委員

松田英樹／辻野健治  
(横浜市港南区港南中央通10-1  
港南区役所地域振興課内  
TEL 847-8391 FAX 842-8193)